

震災学習で学んだこと

自分は地震で生き残っても家族全員なくなってしまうこともあるんだなと思いました。広島の前爆と一緒にのことになっているなと思いました。31年経った今でも1/17を大切にしてきたのはもし地震にあったときに対策ができるからだと思っていたけど「人ごとにしない」のもすごく納得しました。再現のドラマは前の出来事もうつつっていて分かりやすかったです。分かりやすかったから震災の怖さや危険性がすごくわかりました。

震災学習で学んだこと

地震でこんなに人が死ぬなんて改めてわかりました。

体育館で聞いた話や校長先生の話聞いて怖くなったし、いつ何が起こるか分からないから日頃から非常食など備えたり家族で話あった方がいいなと思いました。

人はこんなことで命を失くすんだなと思ひ怖くなりました。

震災学習で学んだこと

- 地震が起こって体育館の天井は剥がれてしまって、そのとき体育館の真ん中に避難していたら亡くなってしまふかもしれないから、そういうときは壁際に避難すること。
- 人から震災の話を書くときや新聞やテレビを見ているときは他人事にはせず、自分ごとのように書くこと。
- 新聞に「不安な朝」という言葉が載っていて、その言葉と共に親がどこにいるかわからなくて1人で小さな子供が体育館で泣いている写真も載っていて、地震が起きて親がどこにいるかわからなくなるとどれだけ大変で不安になるかがとても学べたし、しっかりと家族みんな地震や津波がきたときの集合場所を決めておこうと改めて思いました。
- 新聞に「住宅さえ見つければ8割の人が帰りたい」という言葉が載っていて、この言葉が私は一番心に残りました。なぜなら、今この時間にも震災が理由で苦しんでいたり、悲しんでいる人がたくさんいるんだなと思い、地震が起きて色々な人の幸せが奪われてしまい、普段私にはどんな幸せがあるだろうと少し考えてみました。私はこのようなことが思いつきました。家があるだけでも幸せ。美味しい食べ物が食べられて幸せ。家族みんなと楽しく暮らせているだけでも幸せ。友達と楽しく会話ができるだけでも幸せだな。と少し考えてみるだけでも私の身近にはたくさんの幸せがあって、他の色々な人もみんな幸せなことがたくさんあったのに、震災はこの一瞬の揺れの地震が起こった県の人々の幸せを奪っているなと思い、この震災学習でこれまでよりもっと震災が怖くなりました。

震災学習で学んだこと

三好(みよし)さんの話に出てきた人を二度死なせないという1回目は現実で死ぬことで2回目は人の記憶から消えることとということを聞いて三好さんが大切だと言っていてぼくも大切だと思いました。ぼくがこの話を聞いて思ったことは、人はいつ死ぬかわからないけど記憶は簡単に消えるかも知れないけどずっと忘れなかったら消えないんだなと思いました。校長先生が見せてくれた阪神淡路大震災ごろの新聞を見てその頃がどういうじょうきょうかが詳しくわかった気がしました。

震災学習で学んだこと 神戸新聞の人の話

- 地震があった時の再現の動画で、寝ている時にとっても揺れていて、ベッドから落ちて二つの棚の下敷きになったのが怖いし、危ないなと知った。だから壁と棚をくっつけておくんだなと思いました。
- 再現の動画で、まだ編集するところにいた人もビルがぐわんぐわん揺れてるし、先生用の机ぐらいの大きさの机何個も勝手に動き出してるみたいに揺れてたし、机の下に隠れて机の足を何で持っとくのがわからなかったけど再現のやつを見て、机が動いちゃうんだと知った。
- 神戸新聞の人の作ったスクリーンをみて、建物が45度ぐらい地震の影響で傾いて、夕方になったら全部倒れていた画像を見て、関西は地震が来ないっていうのを考えなをした方がいいなと思いました。
- 地震が起きた時に新聞を作らないといけないのに新聞を作る機会が故障していて、京都新聞と助け合おうねって約束していてよかったなと思います。

校長先生の話

- 地震が起きた時、藤江小の体育館には、骨組みが隠すために天井があって、それがついていた時と、骨組みだけの時の体育館に逃げる場所は違うんだなと知りました。
- 校長先生は地震が来た当時の6年2組の先生だった時に、体育館を見ると天井が抜け落ちていて、ショックで、朝だったからよかったんだと知りました。
- 当時の新聞を見てみると、行方不明者の記事や、見つかってよかったね見たいな新聞、耳が聞こえない夫婦の夫が張り紙に妻を助けてと書いていて見つかったみたいでよかったし、78時間埋まっていた人も見つけてそのぐらいやばいんだなと思いました。

震災学習で学んだこと

阪神淡路大震災みたいに大きな地震でも小さな地震でも対応できるように準備をしておかないといけないことが改めてわかりました。

他のところでも地震が起きていたら、他人事にしない自分のところにも地震が起こるからもしれないから。

地震は、明日起こるかもしれないし、3年後起こるかもしれないから予想できないそれが災害の怖さ。

南海トラフ地震は、僕の生きている時に絶対に起きるから毎日毎日心構えをしないといけない。

南海トラフ地震は、阪神淡路大震災より被害を少なくして、地震が終わった後みんなの顔を見たいなと思っている。

自分がもし地震で家族を亡くしたら生きていけないと思うからそれなりに責任感を持ちながら生きていくことが改めてわかった。

感想を言うときに自分から手をあげればよかった。

パン缶の開け方がわからなかったので災害時に備えて缶の開け方を覚えておこうと思いました。

震災学習で学んだこと

地震はすごく怖いことだし一歩間違えたら死んでおるかもしれない南海トラフだっていつ起こるかわからない日頃から備えておいたら少しでも被害は減らせたりするから災害時に備えておけば少しでも被害は減らせると思いました。

震災学習で学んだこと

2時間目にみよしさんが身近な人を大切にしましょうという話を最初と最後にしていました。身近な人がいつ震災などでなくなってしまうかわからないので人のことを大切にすること、ということが大切ということ、を改めて今日学びました。3時間目の校長先生が話をしてくれた時間には兵庫県民が一月17日を大切にすること、理由を考えることができました。僕は人を二度死なせないため、次に地震が起こった時に被害を最小限にするために兵庫県民は一月十七日を大切にしているんだろうなと思いました。

震災学習で学んだこと
聞いておもったのはやっぱり自身はい
つ起きるかわからなくて本当に怖いん
だなって思いました実際自分は自信を
体験したことがないからどんなものな
のかはわからないけれど今日のDVDを
見てどれほど悲惨で危ないものだった
んだってわかりました喋ってくれた人
の説明もわかりやすくして恐ろしさがよ
くわかりました

震災学習で学んだこと

私が震災学習で学んだことは、地震は、いつも当たり前だったことを壊してしまうほど恐ろしいものだということがわかりました。

それから地震で被害にあった人の中には、生き残ったけれど家族が亡くなってしまって、悲しい思いをした人もたくさんいて震災は防ぐことはできないけれど、もし起こった時の対策などをしっかり覚えておかないといけないと感じました。

最後に地震や災害などはこれからも語り継いでいかなければいけないということがわかりました。

震災学習

私たちは震度7の地震は体験したことがないけどこの間震度3を体験してそれだけでも結構揺れたので震度7を体験した人は恐怖、パニックだったと思います。震度7を経験していない私たちには関係ないではなく体験していないからこそ何かできることがあるんじゃないかと思って考えました。体験していないから関係ないという人たちにどれほど過酷でどれほど残酷なのかを伝えていくのがわたしたちの役目だと思います。いつか私たちも経験することだし震度7を体験したひとの中には両親を亡くし悲しみの中生活をしているのに関係ないは経験した方々に失礼だと思いました。なのでそんな人たちを減らしていきたいなと思いました。いつかその人たちが将来の人たちに伝えていくと誰も忘れずに大切な日になるんじゃないでしょうか。

震災学習で学んだこと

2時間目は、関西では地震が起こらないと当時と言われていましたが、1995年1月17日に阪神・淡路大震災が起こった。阪神・淡路大震災が起こる前日に神戸市で震度1の地震が起こったが注目視していなかった。新聞会社は地震によって機械が壊れしまって新聞が作れなくなったが、京都にある新聞会社で条約が結んである所と協力して新聞を作った。

淡路島に住んでいる5人家族が地震で起こったガス漏れで5人中4人が死んでしまった。建物が倒壊して仮設住宅に申し込んでも入れない場合がある。

阪神・淡路大震災が起こる前は朝なのに空が異常に明るいという異常気象が起こった。実際に阪神・淡路大震災を経験した人はみんなの幸せを祝ったり、励ましたりする仕事についている人がいる。藤江小学校では地震で体育館の天井の骨組みが落ちていました。もしそこに人がいたら死んでると思います。

3時間目は、阪神・淡路大震災があったときの学級通信やその時配られていた新聞を見て紙がもう茶色くなっていて昔から保存されていたのがわかった。新聞を見て何ヶ月もずっと阪神・淡路大震災のことが書かれているのがわかった。阪神・淡路大震災が起きてから神戸など被害を受けた所の状況を毎日新聞に載っていた。

日に日に詳しい死亡者、行方不明者、負傷者の数がわかっていった。

なぜ今も阪神・淡路大震災のことを伝えられているかというたとぶん戦後初めての大地震なのと神戸(関西)で最も大きな地震でとても範囲が広く、被害が大きかったからだと思います。阪神・淡路大震災の悲惨さを改めて確認し、命の大切さがわかった。こんなふうにガスや水道が止まった時にみんなと協力したり、手を取り合ったりして助け合いは大切と改めて感じた。

震災学習で学んだこと

今日、校長先生と三好先生からお話を聞きました。
一番心に残ったのは、三好先生が言っていた『30年の壁』という言葉です。

震災から30年以上がたち、当時のことを知っている人が減って、記憶が消えてしまうかもしれないというお話でした。今のきれいな街だけを見ていると、昔ここで大きな地震があったことを忘れそうになります。

でも、三好先生が一生懸命にお話してくれたのは、私たちにその『壁』を壊して、未来に伝えてほしいからだと思います。私は震災を経験していないけれど、今日聞いたお話を忘れないようにして、ずっと先の世代まで伝えていける一人になりたいです。

震災学習で学んだこと

外部講師の方が実際に体験した時の話を聞いたり、震災のドラマを見たりしたとき、今より建物の耐震性が低かったのもあるかもしれないけれど、本当に揺れが大きく倒れてきた家具や割れたガラスや家事で亡くなってしまった人がたくさんいて、本当に忘れてはいけない大震災だなと思いました。

校長先生の授業の時に私が、心でキャッチした言葉は、「こんな生活いつまで」と「12万人が眠れぬ夜」です。当時の人たちが、本当に苦しい思いをして、恐怖で眠れなかったり、食料がなかったりして、さらにそんな生活がいつまで続くかもわからない中で、もし自分が実際に震災にあったらと想像すると怖いし、耐えられないとおもいます。

外部講師の方がおっしゃっていたように人を二度死なせないためにも、他人事にしないためにも、自分や他の人の命を守るためにも、今の人や次の世代の人、たくさんの人に語り継いでいかなければいけないなと思いました。

震災学習で学んだこと

藤江小学校の体育館の天井が落ちてきたから避難所にならなかった

神戸新聞の人達は、震災で作る機会が壊れたから他の新聞会社と一緒に新聞を出した

みんな家族が亡くなって子供1人になった人もいる

関西に地震は来ないだろうと昔は言われていた時に、大地震がきたから、地震はいつどこでどうやって起きてもおかしくない

地域に地震が来る確率はみんな同じだと思う

これをきっかけにしっかりと地震の対策の準備をしようと思った

震災学習で学んだこと

今までは資料や文章でしか阪神淡路大震災を認識できていなかったけれど実際に震災した方の話を聞いて私が想像している震災よりずっとひどいものなんだと改めて認識しました。なぜ阪神淡路大震災をずっと語り継ぐのかについて私は、人々が学ぶためだからだと思いました。もちろんそれだけじゃないけれど、震災から学んで耐震工事を行ったり、人との関わりや助け合い、身近な人の尊さや命の重さを改めて見直して考えることにつながるんじゃないかなと学習を通して考えました。

震災学習で学んだこと

2時間目は、前まで知らなかった地震によりどのぐらいの人が亡くなったのかとか、地震によりどのような被害にあったのかとかをたくさん知ることができました。

ビデオも見て、タンスや食器棚が激しい揺れによって全て転倒したり、電気も消えているのを見て、より地震の怖さを知りました。

3時間目は、たくさんの新聞を読んで、阪神淡路の被害でどのようなことが起こったのかが書いてあったので、学ぶことができました。

震災学習で学んだこと

災害では、いつ、どこで、何が起きるか分からないので、すぐ避難できるように備えようと思いました。話を聞いてるとどうしても集中してしまって真剣に話を聞いてから、校長先生の話聞いてすごく分かりやすくて、校長先生から貸して見せてもらった当時の新聞記事で思ったことや心に残ったことを黒板に書き込む時にどうしても怖いなって思ってしまってなかなかスラスラ書けなかったけど、災害で犠牲になった人達のために今私達ができることを考えながら、書きました。これからも私らが生きていくなかで、必ずどこかのタイミングが南海トラフ地震が起きると思うので、絶対何がなんでも死なないように必ず生き延びようと思いました。

震災学習で学んだこと

たくさんの方が被災で亡くなってしまったこと。そして、苦しんだこと。そんなことを知って、私は、もっと被災のことを知りたいと思ったし、苦しんだ人たちをもう二度と同じことで苦しませないようにしないといけないなと思いました。なのでそのためには、被災がいつ来てもいいように防災グッズを家に置いておいたり、対策をした方がいいと思いました。そして被害にあって、亡くなった人を二度死なせないということも忘れずにこれからも頑張りまりたいです。

震災学習で学んだこと



私達は大きな地震や災害を経験した事はないけど、新聞を見た時に神戸のあちこちで大きな被害を受けているのを見て、災害というのは人の心を傷つけてしまうものなんだと改めて思いました。

南海トラフは私達が生きている時に必ずおこる事を知り、そのためには、備蓄や避難所などを確認し、いざという時のために準備しておく事が大切だと思いました。自分の命や大事な家族、お年寄りを守るためには、自助や公助、共助をし、命を守る事が大切だと思いました。

地震は自然災害なので、その時のために予防する事が大事だと思いました。

震災学習で学んだこと

校長先生が言っていたけど、1月16日までは平和だったのに、当日の1月17日になると一気に平和が崩れたっていうのは、当時の人を混乱させるし、混乱させるせいでさらに死者や負傷者が増えてしまっているし、負傷者が増えると病院の患者の数がいっぱいになってそのまま亡くなってしまうこともあったと思うので本当に辛いなと思いました。しかも、原爆が投下された時と同じで、自分以外の家族が亡くなって自分だけ生きている状況の人もいたと思うので、その人は「なんで自分だけ」などと思い詰めてしまって最終的には自殺してしまう人もいるんだろうなと思いました。当時の新聞を見ても「復旧まで三ヶ月」などと不安になる見出しもある中、「卒業まで一緒やで」などの前向きな姿勢の見出しもあったので、辛い中でも生き残っている被災者の人やボランティアの人と一緒に復興させていったというのが本当にすごいなと思いました。自分なら心が折れて病んでしまうんじゃないかと思いました。

震災学習で学んだこと

震災はいつ起きるか分からなくて対策は準備をしておくことが大事なので家族で話し合っ
て防災靴を作ったり集合場所を作ろうと思っ
た。人は2度死ぬので2度目の死を作らないよ
ういろんな自身のことを覚えていきたいなと
思った

震災学習で学んだこと
一番心にきたフレーズは、「JR全線不通」と
言うフレーズでした。わけは、一つの自然災
害（地震）だけでJRの機能を失わせるよう
なパワーがあるなんてもう「南海トラフ巨大
地震」の威力は凄まじく強いと思いました。
僕たちは、まだ大きな地震を経験したことが
ないし、一番大きくても震度3ぐらいしか経
験してないから、経験していない中でも、自
分の知識をもとに被害を最小限に抑えれたら
と思いました。

震災学習で学んだこと

今まで、阪神淡路大震災の話はよく聞いていたけど、こんなにしっかり聞く機械はなかなかなくて、しかも経験者が話を聞かせてくれてすごく勉強になりました。

校長先生の授業では、実際に当時の新聞や資料を読んで学んだことを、黒板に書いて様々な意見をみれてすごく良かったです。

震災学習で学んだこと

日本で初めての震度7が起きたこと、県の人たちは震災に強くするみたいなことを言っていたけれど住民は、家族とかが死んでしまっ
て、それどころじゃなかった喧嘩をしたこと。

大きな地震が起きたら、さっき言った喧嘩も
そうやし家が壊れたりしたり火事が起きたり
色々揺れだけじゃなく色々大変なことが起
きること、たった1日と思うかもしれないけ
れど1日でも平和に生きれたら奇跡だと言う
こと。

震災学習で学んだこと

色々な新聞を見て怖いことや思ってることとかじっくり書いてあってゾワゾワしました。キャッチした言葉は忘れないようにします。この大変な事件は一生忘れないように、しようと思いました。特に題名が凄く刺さりました。悲しいことや、どう思ってることや沢山書いてあったりして悲しくなりました。ずっと忘れないようにします。

(遅れてすいません💧)